

人口減少を食い止め
未来につなぐ取り組みやけん!

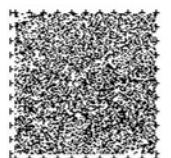
地方創生



愛媛県人口ビジョン 愛媛県版まち・ひと・しごと 創生総合戦略 概要版



オール愛媛でみんなのまちを愛顔に!



平成28年3月
愛媛県

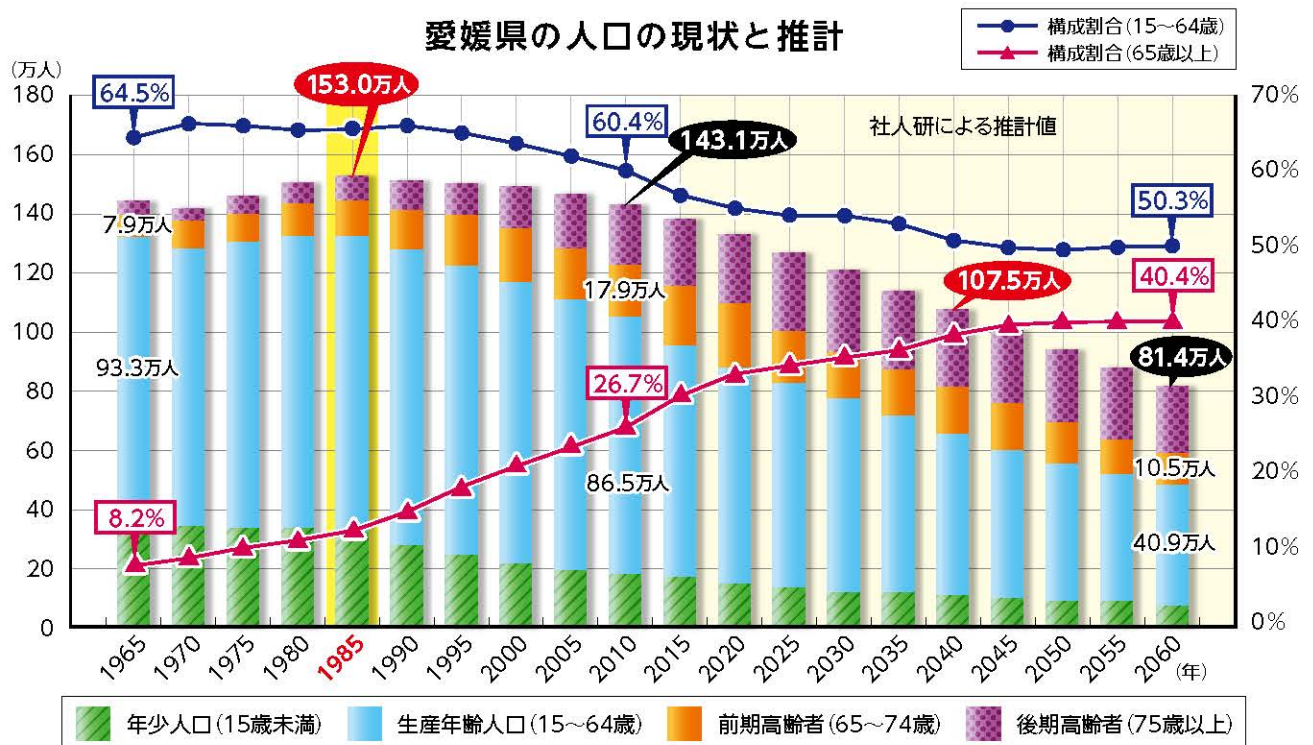
【目の不自由な方へ】
専用の読み上げ装置にて
内容を音声で聞くことができます。

愛媛県人口ビジョン

「愛媛県人口ビジョン」は、国の長期ビジョンを勘案しつつ、県内人口の自然減の歯止め、県外への流出の是正を着実に進めていくに当たって、人口の現状を分析し、今後、本県が目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示すものです。

現状

- ① 減少が続く総人口
- ② 進む少子高齢化



※2010年までは総務省「国勢調査」、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所(以下「社人研」という。)の推計による。

愛媛県の人口は昭和60(1985)年の約153万人を境に減少しており、平成52(2040)年には107万人にまで減少すると推計されています。

総人口のうち、高齢者の割合が、これから高くなっていくと予測されているよ。



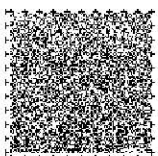
要因

- ① 出生数の減少(自然減★)
- ② 転出超過(社会減★)



よくわかるカイセツ!

音声コード



★「自然減」と「社会減」って何?

「自然減」とは、出生数が死亡数を下回っている状態のことです。逆に、出生数が死亡数を上回っている状態は「自然増」といいます。

「社会減」とは、他地域からの転入数が転出数を下回っている状態のことです。逆に、他地域からの転入数が転出数を上回っている状態を「社会増」といいます。

要因① 出生数の減少

出生数と死亡数

	出生数		死亡数
1970年	2.2万人	>	1.2万人
1990年	1.4万人	>	1.2万人
2010年	1.1万人	<	1.6万人

※厚生労働省「人口動態統計」による。

2010年では死亡数が出生数を上回っています。

初婚年齢 ※社人研の算定による。

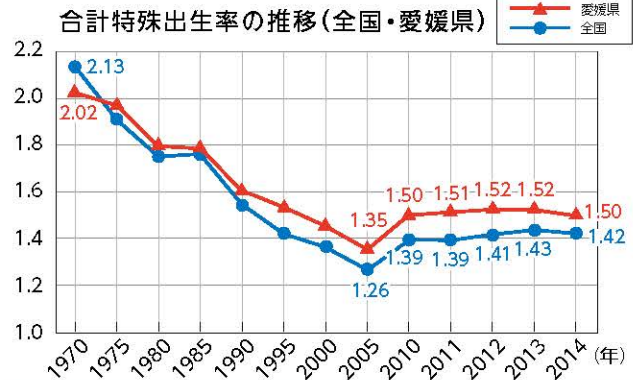
1970年	男性 26.61歳	女性 24.56歳
1990年	男性 29.47歳	女性 26.58歳
2010年	男性 30.26歳	女性 29.09歳

価値観の多様化や社会情勢の変化が要因のひとつとして考えられます。



男女ともに年々初婚年齢が上がっています。

合計特殊出生率 ※合計特殊出生率: 15~49歳の女性の年齢別出生率を合計したもの



全国平均よりは上回っていますが、人口置換水準^{*}の2.07を大きく下回っています。



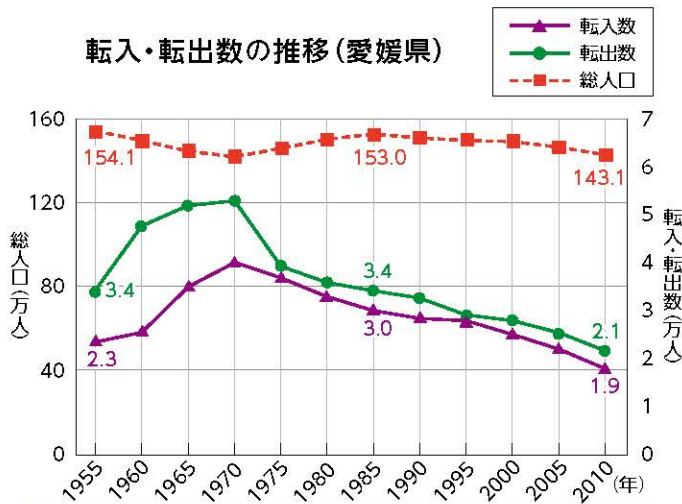
生涯未婚率 ※生涯未婚率: 45~49歳と50~54歳未婚率の平均値であり、50歳時の未婚率を示す。

1970年	男性 1.45%	女性 2.89%
1990年	男性 4.65%	女性 4.56%
2010年	男性 18.72%	女性 10.69%

愛媛県の約1割以上の男女が生涯未婚です。

要因② 転出超過

転入・転出数の推移(愛媛県)



進学や就職で若者が県外へ転出しています。

15~24歳の転入・転出者数

	転入者	転出者	社会増減
2010年	4,145人	6,817人	△2,672人
2011年	4,007人	6,748人	△2,741人
2012年	3,813人	6,641人	△2,828人
2013年	3,758人	6,775人	△3,017人
2014年	3,930人	6,821人	△2,891人

※総務省「住民基本台帳人口移動報告」による。

15~24歳の若者は進学や就職、高齢者は、定年後のUターン、子どもとの同居や介護施設への転居等が推測されます。大学等を卒業して就職する者が多い20~24歳において、転出超過となっているのは、県外から進学してきた若者が地元へ帰っていく一方、**進学等で県外へ転出した若者は卒業後も愛媛県に戻って来ない**ことが推測されます。

ここ数年は1年間に3,000人程の社会減になっています。

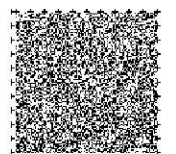


よくわかるカイセツ!

★「人口置換水準」って何?

人口が将来にわたって増えも減りもしないで、親の世代と同数で置き換わるための大きさを表す指標です。人口置換水準に見合う合計特殊出生率は、女性の死亡率等によって変動するので一概にはいえませんが、日本における平成26年の値は2.07となっています。なお、人口置換水準は、国立社会保障・人口問題研究所(社人研)で算出されています。

音声コード



県内市町の人口の現状 (2010～2015年)

20市町すべてで減少、最大12%減

愛媛県の人口は1990年調査から6回連続で減少。2015年は、減少数、減少率ともに最大になりました。減少数が多いのは、今治市、宇和島市、西条市など。減少率は久万高原町、伊方町、愛南町など郡部で高くなっています。

人口減少率 5%未満

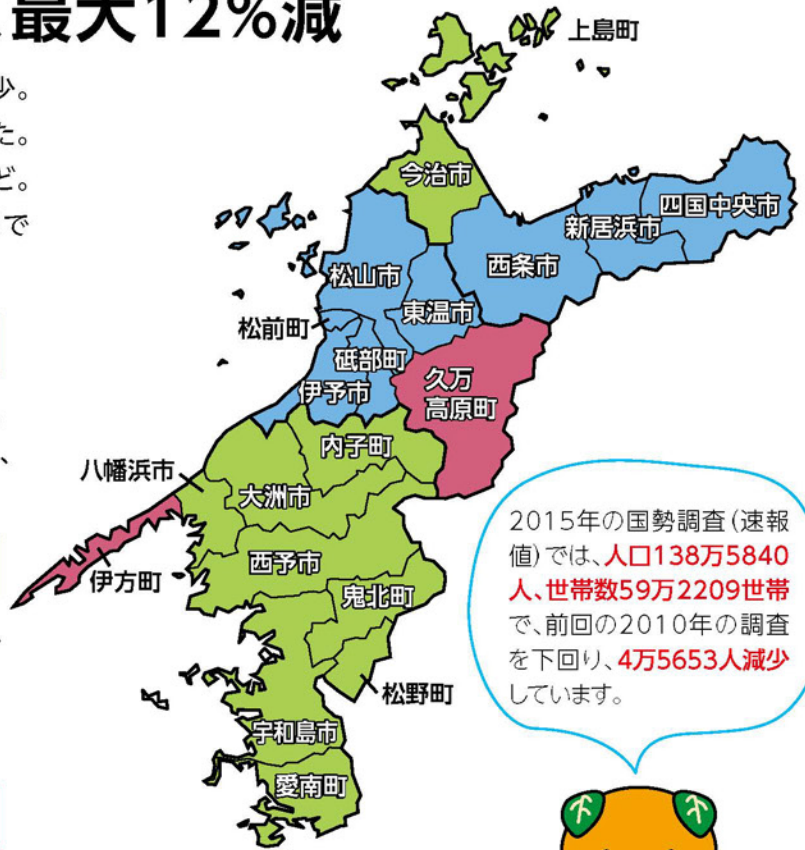
松山市(0.41%)、新居浜市(1.5%)、西条市(3.43%)、伊予市(3.1%)、四国中央市(3.02%)、東温市(1.7%)、松前町(0.95%)、砥部町(3.32%)

人口減少率 5%～10%未満

今治市(5.01%)、宇和島市(8%)、八幡浜市(8.88%)、大洲市(6.42%)、西予市(7.49%)、上島町(6.88%)、内子町(7.18%)、松野町(7.06%)、鬼北町(7.95%)、愛南町(8.97%)

人口減少率 10%以上

久万高原町(12.28%)、伊方町(11.51%)



2015年の国勢調査(速報値)では、人口138万5840人、世帯数59万2209世帯で、前回の2010年の調査を下回り、4万5653人減少しています。



このまま人口減少が続くと...

私たちの生活に深刻な影響が出てきます。

働く人が減ってしまう

働く場所も減ってしまう

人口減少で困ったことになるけん!

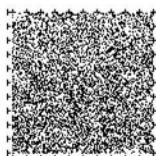
経済が衰退してしまう

医療・介護サービスが受けにくくなる



愛媛県 ダークみきゃん

音声コード



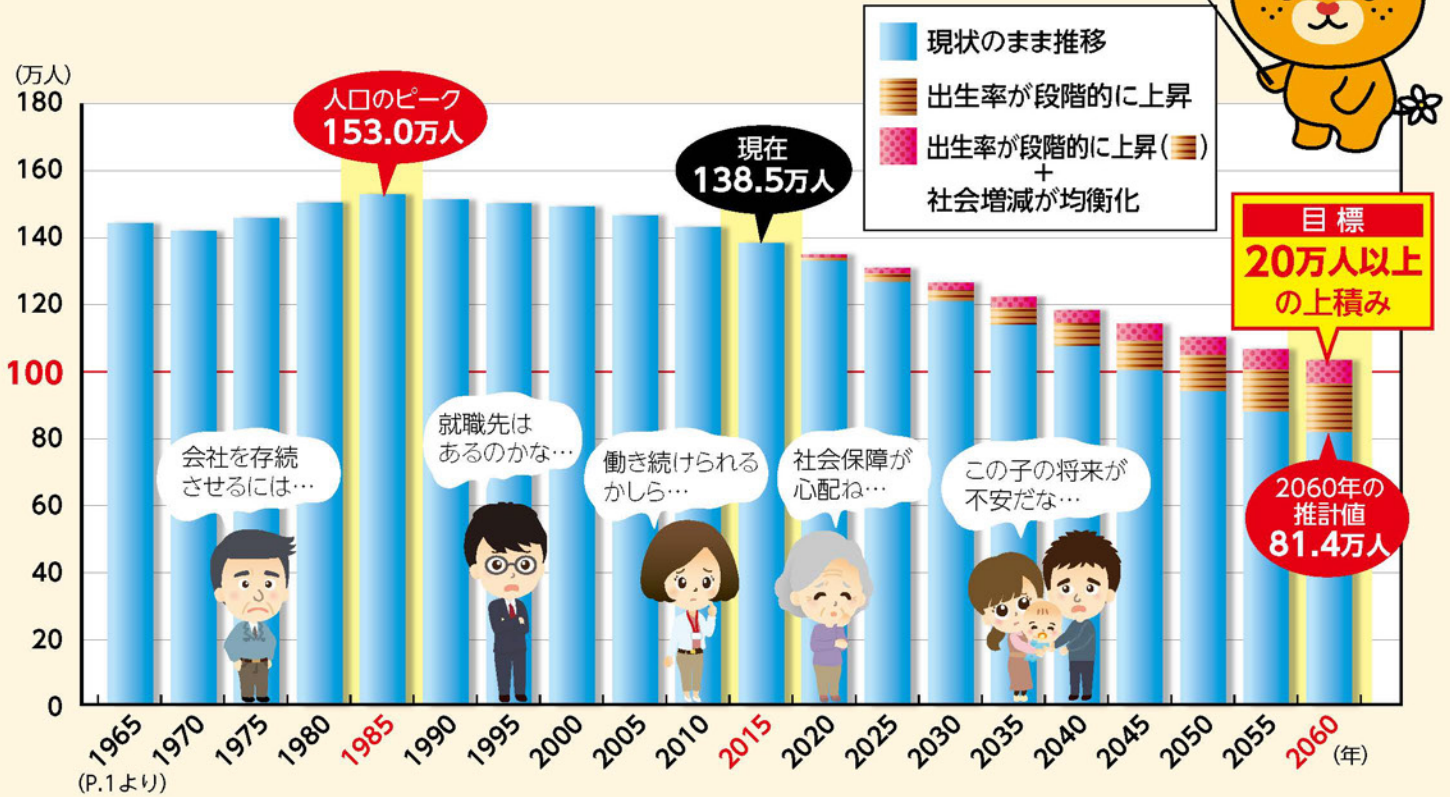
このまま人口が減り続けて、愛媛県は大丈夫なの？

愛媛の人口未来予想図

人口ビジョンと目標

本県では、1985年の約153万人を境に人口が減少し続け、このまま推移した場合、2060年には81.4万人（ピーク時の約4割減）にまで減少すると推計されています。

ピーク時の約4割にまで減少！



人口減少を食い止めるために目指すのは！！

目標 81.4万人よりも最低20万人以上上積み!

2060年の推計値

最低 25%以上

条件
①

若い世代の就労・結婚・子育ての希望が実現！

合計特殊出生率の段階的な上昇 ⇒ 自然減の歯止め

[2020年に1.6程度、2030年に1.8程度、
 2040年に2.07程度に上昇するよう努力]

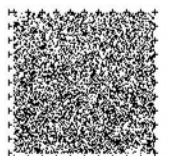
※合計特殊出生率：15～49歳の女性の年齢別出生率を合計したもの

条件
②

2020年代に少なくとも人口の流出入を均衡化

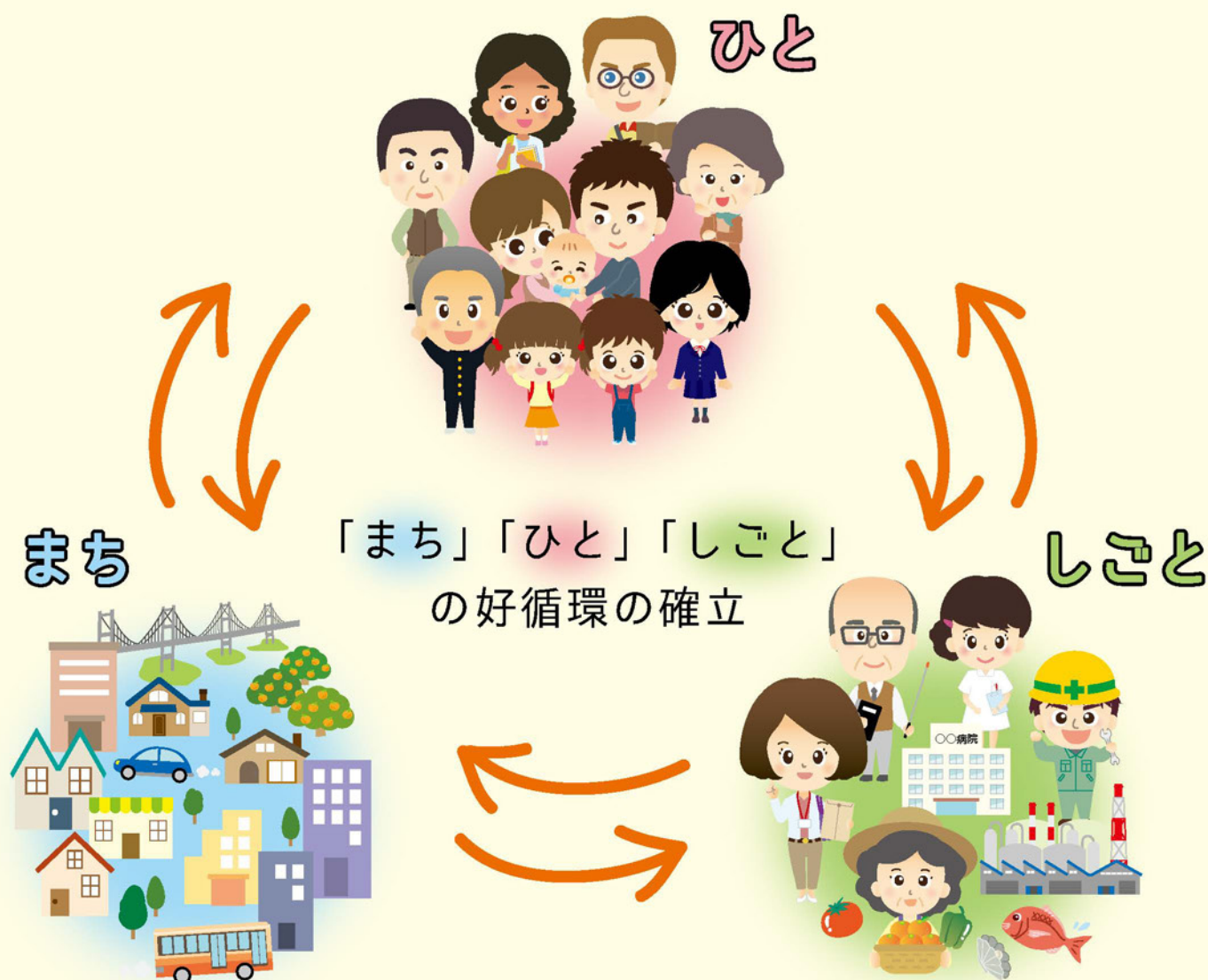
社会減の解消

音声コード



愛媛県版まち・ひと

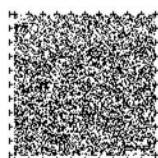
「人口ビジョン」を踏まえ、本戦略の目標年次である平成31年度において、県として実現すべき成果（アウトカム）を重視した数値目標を次の3つの基本目標のもとに設定し、まち・ひと・しごとの創生を目指して取り組んでいくことで、県内人口の自然減と社会減の是正を着実に進めていきます。



愛媛に「しごと」をつくり、

「ひと」を呼び込み、「まち」を豊かに!

音声コード



しごとと創生総合戦略

基本目標

1

地域に働く場所をつくる
人を呼び込む

詳しくは
▶P.7-8へ

たくさんの人が住み、訪れる魅力ある愛媛づくり

2

出会うの場をつくる
安心して子どもを生き育てる

詳しくは
▶P.9-10へ

たくさんのお出会うの場があり、
安心して生き育てられる愛媛づくり

3

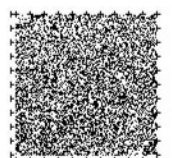
元気な地域をつくる
いつまでも地域で暮らせる

詳しくは
▶P.11-12へ

みんなが安心して心豊かに暮らせる愛媛づくり

愛媛県への新たな人の流れを生み出し、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻し、人々が安心して生活を営み、子どもを生き育てられる社会環境をつくり出していくことが急がれています。

音声コード



基本目標
1

地域に働く場所をつくる 人を呼び込む

施策① 産業力の強化と成長産業の育成

地元大学等と連携した地域産業を支える人材の育成・支援

地元大学等と連携して、地元産業を支える人材や企業で中核的な役割を担う人材の育成を支援するとともに、成長産業を支える技術力・営業力などの資質を備えた人材の獲得・育成の支援などに取り組んでいきます。

★
KPI 県内大学新規卒業者の就職決定率(全体・県内就職)

全体 93.1%
県内就職 49.2%
(平成25年度)

▶

全体 95.6%以上
県内就職 58.3%以上
(平成31年度)



合同会社説明会

県内企業の営業力強化と販路拡大に向けた支援

トップセールスの国内外での展開など、「営業」というフェース・トゥ・フェースでの売り込みにこだわるとともに、関係機関と連携した「オール愛媛」体制で、国内外での販路拡大を強力に進めます。また、県内企業が力強く活動できるように、企業力の向上を図っていきます。

★
KPI 県関与成約額

56.2億円
(平成26年度)

▶

100億円
(平成30年度)



海外での愛媛柑橘フェア



知事トップセールス

農林水産業の成長産業化に向けた支援

農林水産業の成長産業化に向け、担い手の確保・育成や経営の安定化に努めるとともに、県産農林水産物のブランド化による販売拡大を図っていきます。

また、環境や食の安全・安心にも配慮した生産技術の開発・普及や消費者ニーズを踏まえた新たな商品の開発・改良に向けた生産者や民間企業との連携、6次産業化への支援を強力に推進し、その効果を県内に広く波及させていきます。

★
KPI えひめ愛顔の農林水産人(のうりんすいさんびと)データベースへの掲載人数【累計】

38人(平成27年度)

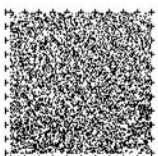
▼

150人(平成32年度)



よくわかるカイセツ!

音声コード



★「KPI」って何?

重要業績評価指標 (Key Performance Indicator) の略称で、施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標のことです。

なお、本戦略では、アウトカム指標 (政策の実施により結果として住民にどのような便益もたらされたのか (アウトカム) を示す指標のこと) を原則としたKPIを設定することで、各施策の進捗状況を客観的に検証できるようにしています。



数値目標

社会減の縮小

3,512人の転出超過
(平成26年度)

1,200人以上の縮小
(平成31年度)

施策② 良質な雇用の場の創出と次代を担う人材の確保

進学等で県外に出た若者の地元回帰

県内中小企業等の人材確保を図るとともに、県外への人口流出に歯止めをかけるため、新規学卒者の地元就職向上に取り組んでいきます。

また、県外に進学した学生や県外で就職・生活している県出身者の本県での就職支援に取り組んでいきます。

KPI 20～24歳の若者の県外への転出超過数

1,841人
(平成26年)

1,227人
(平成31年)

施策③ 移住・定住の促進

都市部居住者の地域への人材還流の推進

市町や関係団体と連携し、地域を支える担い手を呼び込むとともに、移住者のニーズにきめ細かく対応した多様な取組みを進め、本県への移住・定住を促進していきます。また、本県出身者をはじめとする都市部居住者を地域に呼び込む、住民の主体的な取組みを支援していきます。

KPI 県外からの移住者数

64人(平成25年度)

500人(平成31年度)



えひめ職の担い手移住フェア

施策④ にぎわいの創出による交流人口の拡大

愛媛の豊かな観光資源をフル活用した戦略的取組みによる外需の獲得

各地の観光資源の魅力を発掘、磨き上げ、つないでいくことで、県全体の魅力を高めるとともに、その魅力を強力に発信し、誘客促進に努めていきます。

また、本県の豊かな観光資源をフル活用した戦略的取組みによる外需の獲得を実現するため、観光振興をマネジメントする組織の取組みを推進していきます。

自転車新文化の推進

市町や企業・団体等と連携して、受入環境の整備やプロモーション活動の強化・広域連携により、国内外からサイクリストを誘致するなど、地域活性化と交流人口の拡大を図っていきます。

また、安全で快適な「サイクリングパラダイス愛媛」の実現を目指すとともに、自転車新文化の普及を図っていきます。

KPI しまなみ海道(今治市)におけるレンタサイクル利用件数

42,233件(平成25年度)

50,000件以上(平成31年度)



瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会

KPI 観光客数

25,281千人(平成25年)

29,000千人(平成32年)



道後温泉本館



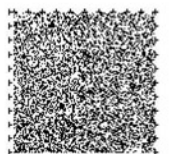
よくわかるカイセツ!

★「自転車新文化」って何?

スポーツやレジャーのツールとして、私たちに「健康」、「生きがい」、「友情」をプレゼントしてくれる自転車を楽しもうというもの。

なお、愛媛県では「自転車新文化」の定着を図るとともに、県内全域で誰もが自転車を楽しめる「愛媛マルゴト自転車道」作戦の展開や、しまなみ海道を舞台とした国際サイクリング大会の開催等により、愛媛が「サイクリング・パラダイス」になることを目指しています。

音声コード



基本目標 2

出会いの場をつくる 安心して子どもを生み育てる

施策① 若い世代の自立と出会いの支援

結婚支援センターを中心とした 様々な出会いの場の提供

結婚を希望している未婚者に良きパートナーと出会う機会を提供するため、県民総ぐるみで結婚を支援する体制づくりを進めていきます。

KPI えひめ結婚支援センター[★]におけるカップル数【累計】

7,800組(平成26年度)

▼
18,000組(平成31年度)



施策② 子ども・子育て支援の充実

妊娠～子育てまでの切れ目のないワンストップ相談・支援体制の構築

保護者が愛情豊かに子どもと接することができるよう、地域での交流や相談を促進するとともに、ニーズに応えられる幼児教育や保育サービス等の提供を促進するなど、妊娠・出産・子育ての「切れ目のない支援」に総合的に取り組んでいきます。

KPI スマホアプリ(きらきらナビ)[★]登録数【累計】

14,000件(平成31年度)

KPI 子育て世代包括支援センターの整備数【累計】

5か所(平成31年度)



よくわかるカイセツ！

★「えひめ結婚支援センター」って何？

結婚を希望する男女に出会いを提供する公的なセンターです。

独身男女の出会う機会を提供する結婚支援イベントの開催や、1対1のお見合い事業「愛結び」、県外の独身者にアプローチして、過疎・離島地域での婚活を働き掛けています。

<http://www.msc-ehime.jp/>

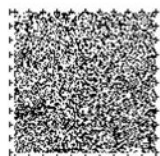
★「きらきらナビ」って何？

愛媛県が配信している結婚から妊娠、出産、子育てまでワンストップで応援するためのスマホアプリです。

各ライフステージ(婚活、妊活、妊娠、子育て)や子どもの生年月日、情報配信を希望する地域を登録することで、その人に合った情報を提供するほか、子育て中の方には子どもの成長段階に応じたメッセージやQ&Aなどを発信しています。

<http://www.ehime-kirakira.com/>

音声コード





数値目標

合計特殊出生率の段階的な上昇

1.50%
(平成26年)

▶ **1.58%程度**
(平成31年)

施策③ 子どもや親子に安心な環境の整備

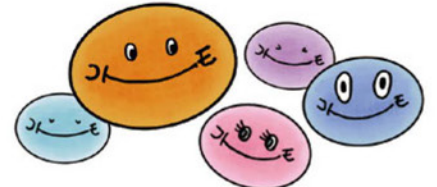
ひとり親家庭等での 子育て支援の推進

ひとり親家庭の子どもが、その置かれている環境にかかわらず、心身ともに健やかに成長するため、ひとり親家庭の自立に向けた経済的支援や子育て・生活支援、就業支援等の総合的な支援に取り組んでいきます。

KPI ひとり親家庭の就業率

93.2%
(平成26年度)

▼
94.0%以上
(平成31年度)



親と子どもたち一人ひとりのための
「こどもの成長支援プロジェクト」ロゴマーク
※厚生労働省

施策④ 子育てと仕事の両立支援

男女がともに子育てが出来る環境の整備促進

夫婦が共同で子育てをする「共育」の考え方の定着促進を図り、男女が共に働きながら子育てしやすい環境づくりを促進していきます。

また、市町や関係機関等と連携し、地域におけるきめ細やかな子育て支援サービスの提供に取り組んでいきます。

KPI 育児休業取得率

男性 3.2%
女性81.3%
(平成25年度)

▶ **男性10%以上**
女性90%以上
(平成31年度)



フォトコンテスト最優秀賞



フォトコンテスト優秀賞

えひめ子育て応援企業の増加

自主的に仕事と子育ての両立支援に取り組む企業を社会的に評価するための取組みを推進し、仕事と家庭生活の両立が図られる職場環境づくりを促進していきます。

KPI えひめ子育て[★]応援企業の認証件数【累計】

529件(平成26年度)

▼
625件以上(平成31年度)



〈子育て応援企業認証マーク〉



〈子育て応援企業ゴールド認証マーク〉



よくわかるカイセツ！

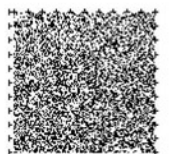
★「えひめ子育て応援企業」って何？

次代を担う子どもたちの健全育成と働く方々の福祉の向上のため、仕事をしながら子育てできる職場環境づくりに積極的に取り組む中小企業として、愛媛県の認定を受けた企業のことです。

<http://www.pref.ehime.jp/h30500/kosodateouenkigyou/index.html>



音声コード



基本目標 3

元気な地域をつくる いつまでも地域で暮らせる

施策① 安心できる環境の整備

人口減少社会に対応したコンパクトな 地域コミュニティの形成支援

生活に必要な各種のサービスを維持し、効率的に提供していくため
に取り込まれる各種機能の一定のエリアへの集約化(コンパクト化)や
都市機能に応じた圏域人口の確保のための地域間でのネットワーク化
について、国や市町・関係機関等と連携して支援していきます。

KPI 地域づくり協働体の構築に向けた新規計画策定箇所数【累計】

2箇所(平成26年度) ▶ **12箇所**(平成31年度)



地域づくり協働体構築サポート事業(愛南町緑地域住民集会)

地域の福祉・介護・医療を支える環境づくり

医師等確保対策について、愛媛大学や関係機関等と連携して強力
に推進するとともに、国に抜本的な制度改革を強く働きかけてい
きます。

また、県民誰もが適切な医療を不安なく受診できる、効率的かつ
質の高い医療提供体制の構築を図っていきます。

KPI 指定医療機関等への医師確保奨学金貸与生の配置人数【累計】

9人(平成27年度) ▶ **74人**(平成31年度)



施策② 心豊かに暮らせる地域づくり

快適な暮らし空間の実現

コンパクトでにぎわいのある人にやさしい
まちづくりや、緑豊かで周辺環境と調和した
景観や町並みの形成に向けて、快適な生活環
境の整備に努めていきます。

KPI 景観計画策定数【累計】

11件(平成26年度)

▼
20件(平成30年度)

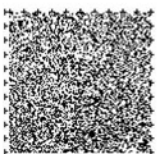


道後温泉本館周辺景観形成重点地区



よくわかるカイセツ!

音声コード



★「地域づくり協働体」って何？

地域の意思を決定する会合等を持つ概ね小学校区程度の規模を持つ複数集落群であって、独自の規約、
意思決定の仕組み(総会等)、予算、代表者が存在している団体の総称です。



数値目標

複数の市町が連携・協力した定住の受け皿の形成【累計】

3件
(平成26年度)

4件
(平成31年度)

施策③ 地域連携による協働のきずなづくり

全ての県民が参画する社会の実現

地域が抱える様々な課題に県民一人ひとりが正面から向き合う意識を高め、地域課題の解決に取り組む担い手の育成やNPO法人等の活動基盤の強化支援、地域づくりに参画することができる協働ネットワークの構築や地域コミュニティの強化、移住してきた人の地域の仕事や社会活動、生涯学習などへの積極的な参加を支援していきます。

KPI NPO法人数(認定・仮認定NPO法人を含む)【累計】

437法人 ※うち認定・仮認定NPO法人
(認定 3法人、仮認定 3法人) (平成26年度)

500法人 ※うち認定・仮認定NPO法人
(現状値より増加) (平成31年度)

KPI 愛媛ボランティアネット会員登録数【累計】

3,661会員(平成26年度)

4,500会員(平成31年度)



施策④ 地域を支える担い手の確保

地域を支える人材の育成

小・中学校や県立高校において、地域に貢献できる人材の育成に取り組み、若者の地域への定着・回帰を目指していきます。

また、実態に即した研修会の開催等を通じて、地域を支える人材のスキルアップを支援していきます。

KPI 地域づくりリーダー育成数【累計】

192人(平成26年度)

317人(平成31年度)



よくわかるカイセツ!



★「愛媛ボランティアネット」って何?

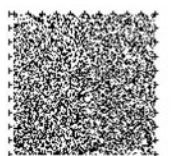
県内のボランティア関連情報を集積して、手助けを必要とする人や手助けしたい人に対し、インターネットを利用して必要な情報を提供していくことで、ボランティアマッチングを支援しています。

<http://nv.pref.ehime.jp/servlet/Kokai>

★「地域づくりリーダー」って何?

地域づくり活動の核となる人材として、公益財団法人えひめ地域政策研究センターが実施する「地域づくりリーダー育成研修会」を修了した人のことです。

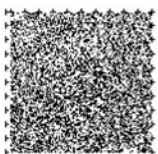
音声コード



各地方における今後、目指すべき方向性及び

	目指すべき方向性	
東予	ものづくり産業を支える人材の確保・育成	県外に出た若者の県内企業への就職活動の支援
		地元企業と大都市圏の高度なスキルを有する人材のマッチング
		ものづくり企業等への支援(販路拡大・取引拡大)を通じた社員の所得向上や雇用の拡大
		工業用地の確保等、立地環境の整備・拡充
	子育てにも配慮した働きやすい環境づくり	共稼ぎ家庭や女性の就労促進のための保育の充実
	地域資源を活かした観光交流による実需の創出	サイクリストの聖地しまなみ海道や別子銅山等の産業遺産、東予の山岳等を素材として実需を創出する新たなツーリズムの開発・推進
島嶼部や中山間地域の生活基盤の維持・確保による定住維持	離島や中山間地域の公共交通(航路、バス路線)ネットワークの維持	
	今治小松自動車道(今治道路)や上島架橋(岩城橋)の整備推進等	
中予	選ばれる都市としての魅力づくり	選ばれる都市を目指したまちづくりと都市ブランドの確立
		都市機能面での競争力を高めるための、外環状道路やJR松山駅高架の整備、交通結節点となる空港や港のアクセス強化
		多様な国際交流の中核拠点としての、外国人が訪れやすく暮らしやすい多文化共生地域づくり
	大学や産業支援機関等と連携した人材育成	人口減少社会を支える新たな層として、女性やアクティブシニアに着目した創業支援 小中高での地域教育の推進と大学での地域が求める高度人材の育成(愛媛大学COC+、社会共創学部)
	県内観光のメインゲートとしての機能強化と東・南予と連携した周遊型観光の振興	道後温泉など一級の観光資源を活用した誘客促進のためのおもてなし機能の強化、東・南予地域に導くための仕掛けづくり
新たな雇用を生み出す産業の創出	先端素材関連産業や情報サービス関連産業などの既存立地企業と連携した新規ビジネスの創出	
南予	生活機能の維持・確保と新たな定住の受け皿づくり	各市町の連携による、生活機能の確保と定住の受け皿づくりの形成に向けた、医療・福祉、産業振興、生活交通、移住・交流などの分野での一体とした施策展開の取組支援
		地域高規格道路「大洲・八幡浜自動車道」の整備推進
	一次産業の高付加価値化等による就業者の維持・拡大	6次産業化や産学官連携等による農林水産業の高付加価値化
		農水産品のブランド化、販路拡大
	広域観光の推進による交流人口の拡大	高知県とも連携した広域周遊ルートの新設による継続的な誘客(九四航路による九州エリアからの誘客も視野)
	地域の生活基盤をなす生活衛生事業や一次産業の事業継承	後継者不足に直面する食料品店、理容美容、GSなどの小規模小売り・サービス業や一次産業自営業者の事業継承支援
多様な居住・生活スタイルの定着	高速道路の南予延伸のもと、沿線都市との遠距離通勤や県内外の都市圏との二地域居住など多様な居住スタイルを促進	

音声コード



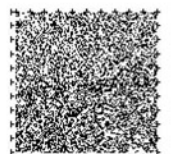
具体的な施策

主な具体的な施策

- 小・中学生を対象とした地域産業学習、工場見学や実業系の高校におけるインターンシップ体験
 - 「スゴ技」及び「すごモノ」データベースを活用したものづくり企業の魅力発信
 - 大学生の地元企業へのUターンや移住の支援
 - 人材育成施設への支援などによる技能継承の進展と若手技術者の育成
- 時代のニーズに応じた新たなものづくりやサービスの開発・改善に取り組む能力を持つ「プロフェッショナル人材」の県内へのUターン拡大
- 域内中小企業等の国内外での販路開拓や取引拡大を目指したフォローアップ及び積極的な営業支援活動に取り組むことによる地域経済の活性化と雇用の確保
- 用地不足による県外転出を防ぐため、用地確保に向けた連携・協力など企業の留置対策
 - 企業活動に有益な本県内の産業情報の提供、国内外における販路開拓や中小企業向け融資制度の充実など、企業の立場に立った総合的な支援による企業力の向上
- ものづくり企業をはじめ、域内のあらゆる場での女性の活躍推進及びワーク・ライフ・バランスの実現のため、新たな労働力確保に向けた子ども・子育て支援新制度に対応した取組みの推進
- サイクルオアシスといったサイクリストに優しい環境整備の充実、地域住民との交流促進など「サイクリストの聖地」定着に向けた取組みの推進
 - 別子銅山をはじめとする産業遺産等によるツアー商品の開発など、観光の新たな切り口としてのブランド化による観光振興
- 各機関との連携・利用促進、コミュニティバスやデマンド交通などと組み合わせ、まちづくりの基盤とするとともに、災害時の緊急輸送に対応できる交通ネットワークとして充実化
- しまなみ海道と「四国8の字ネットワーク」を接続する今治小松自動車道(今治道路)、離島間をつなぐ上島架橋(岩城橋)の整備推進による島しょ部の地域活性化や県内外との広域連携の強化
- 人、モノ、情報等の交流・連携を通じた移住者等の定住・起業支援など地域を支える人材の育成・確保をはじめ、地域活動の活性化や集落機能維持に向けた取組み支援など、市町とも連携した魅力ある地域づくりの推進
- 松山外環状道路やJR松山駅付近連続立体交差事業、松山駅西口南江戸線など交通ネットワークの重点的な整備
- 各分野における海外との多様な交流を支えるとともに、外国人が安心して暮らせるよう、地域での異文化理解の向上をはじめ、各分野での外国語対応の充実化
- 女性やアクティブシニアの起業や再就職等を支援することによる中予地域の産業を担う人材の育成・確保や雇用のミスマッチの解消
- 地元大学等による地域を担う人材の育成事業と連携した県内企業が求める人材の地元就業の促進
 - 地域の企業等と連携した高等学校等における地域産業への体験学習の推進による子どもの地元産業への理解促進と地元での就職・就業意欲の向上
- 中予地域にある自然、歴史、文化、施設などの地域資源を広域的に結んだ体験型観光・交流ルートやサイクリングコース等の充実・P・R
 - 産業観光やヘルスツーリズムなど新たな手法の観光の推進及び「瀬戸内しまのわ2014」の事業成果の中予全域への波及
 - 異分野交流による新たな価値や活動を生み出す施策の展開による更なる魅力とにぎわいの創出
- 市町や関係団体と連携した先端素材関連産業や情報サービス関連産業などが立地する中予地域の特性を活かした新たな企業の誘致
- 切れ目のない地域包括ケア体制の構築及び医療従事者の勤務環境改善などの負担軽減による医師等の確保
 - 農林水産業を核とした活力ある産業づくりの推進
 - 生活の足として欠かせない生活バス路線や離島航路及び地域の鉄道路線の存続と利用促進
 - 市町と連携した地域外人材の更なる活用の推進、空き家の利用や地域コミュニティ組織である地域づくり協働体の育成、移住・Uターン希望者等への情報提供や助言等による集落機能の維持・活性化や移住・定住の促進
- 地域高規格道路「大洲・八幡浜自動車道」の整備推進による九州～四国～京阪神を結ぶ広域高速ネットワークの形成と、それによる物流の効率化・観光振興
- 新たな加工商品の開発・販売、産学官連携による効率的な生産技術の実用化、農工商連携による新サービスの開発などによる地域の農林水産業の活性化
- 消費者嗜好や市場ニーズの多様化に適応した有望品種の導入や品種転換、周年供給体制の構築や栽培技術の向上などによる農家の所得向上と産地の活性化
- 広域的な視点で情報発信や活動の促進を図るため、広域連携事業の支援や産直施設等のネットワーク化の充実、さらには地域に点在している特産品等の情報の集約・発信など南予9市町相互の連携や一体化はもとより、高知県西部や東九州も含めた近隣地域との広域連携と協力関係の更なる強化
- 後継者不足により廃業の危機にある県内事業者の次世代への事業継承を、国や県内市町・関係機関が連携して支援することによる県内における雇用・就業の場の維持・確保
- 都市部への過剰な人口集中を抑制するため、地域特性や空き家等の未活用のインフラを活かした「県内での二地域居住」について県内市町等と連携して推進



音声コード



オール愛媛で
愛媛の未来をよくするけん!

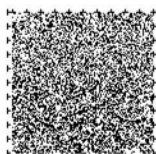


愛媛県のホームページでは
人口ビジョンと総合戦略を公開しています。

愛媛県人口ビジョン 検索

<https://www.pref.ehime.jp/h12100/jinnkoumondai/matihitoshigotosousei.html>

音声コード



愛媛県人口ビジョン/愛媛県版まち・ひと・しごと創生総合戦略[概要版]

愛媛県企画振興部政策企画局
総合政策課政策企画グループ

〒790-8570 愛媛県松山市一番町四丁目4番地2
TEL 089-941-2111 (代表) TEL 089-912-2233 (直通)
FAX 089-921-2002 mail sougouseisak@pref.ehime.jp



この印刷物は、E3PAのシルバー基準に適合した
地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA:環境配慮印刷推進協議会
<http://www.e3pa.com>